

第2回宇宙産業プログラムに関する施策・事業評価検討会

議 事 要 旨

1. 日 時 平成28年2月12日（金）15：00～17：00

2. 場 所 経済産業省 本館6階8西 製造産業局第4会議室

3. 出席者

（検討会委員）[敬称略・五十音順、※は座長]

澤谷 邦男	国立大学法人東北大学 イノベーション戦略推進本部 レジリエント社会構築イノベーションセンター 副センター長
※建石 隆太郎	国立大学法人千葉大学 環境リモートセンシング研究センター長 教授
中山 裕則	学校法人日本大学 文理学部地球システム学科 教授
橋本 英一	元国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 研究開発本部 宇宙実証研究共同センター長
三宅 弘晃	学校法人五島育英会 東京都市大学 工学部機械システム工学科 准教授

（事務局）

製造産業局航空機武器宇宙産業課宇宙産業室
室長 恒藤 晃
係長 宮内 光弘

（評価推進課室）

産業技術環境局研究開発課技術評課室
技術評価専門職員 江間 祥三

4. 配布資料

資料1 第1回評価検討会議事録（案）

資料2 評価報告書（案）

5. 議事概要

(1) 第1回評価検討会議事録の確認について

「資料1 第1回評価検討会議事録(案)」の確認を行い、一部体裁の修正を施した上で、公開することとなった。

(2) 評価報告書(案)について

事務局から、「資料2 評価報告書(案)」について説明を行い、その内容について審議が行われ、一部修正を行うこととなった。修正した評価報告書(案)については、後日、事務局より委員に送付し、確認を得た上でセットすることとなった。

主な意見は以下のとおり。

- ・第5章「技術に関する事業評価」のD事業「総合評価」とりまとめ案について、可搬であることに対するニーズは薄いと考えられ、「固定の地上システムが不要となる」とは言えない、との意見があり、記載ぶりを修正することとなった。
- ・第6章「今後の研究開発の方向等に関する提言」の「技術に関する施策」とりまとめ案について、リモートセンシングデータ利用の拡大につながる取組に当たっては、日本中の英知を結集し取り組む必要がある、との意見があり、記載ぶりを修正することとなった。
- ・第6章「今後の研究開発の方向等に関する提言」の「技術に関する事業」のうち、A～H事業とりまとめ案について、資源保有国を対象とした解析手法の開発とあるが、多様な地域に対応できる解析手法の開発ということではないか、との意見があり、記載ぶりを修正することとなった。

(3) 今後の予定

事務局から、本検討会后セットされた評価報告書(案)は、産業構造審議会産業技術分科会研究開発・イノベーション小委員会評価ワーキンググループで審議され、了承を得た後、経済産業省ホームページで公開される旨説明を行った。